

今年度3回目の授業研究！ 6/28 生活科 1年生 「なつがやってきた」

めあて

もっと楽しい水遊びについて話し合い、次にしたい遊びを決めよう。

願い

グループ→全体と話し合う中で、友達の遊び方や道具の工夫のよさに気づき、次に遊びたい内容を自己決定できるようになってほしい。

研究の手だて

低学年分科会で
話し合った結果…

① 板書の工夫

児童が「次にしたい遊び」をイメージして決められるように、板書は遊び方や道具の工夫が分かるように、イラストと言葉を用いる。

また、単元の目標を想起できるよう板書に「～のために」と掲示しておく。

② グループワークの活用

児童の実態から全体では意見が出にくいことが考えられるため、同じ目的をもった児童同士が集まり、一つの物事に対して意見を出し合えるようにする。

相談したい
こと

①場の設定について

前時の水遊びの体験から、「もっと遊びたい!」という思いを残したまま、本時の話し合いに繋げるために、前時の水遊びの場をどのように設定すればよいのか。(道具や場、時間の提示の仕方)

②単元の方角性について

1年生の発達段階から、1学期は単元のゴールになるアクションや対象をあえて作らずに、自分自身に目を向けて遊びを深める活動をするのか、またはゴールや対象を示して活動する流れがよいのか。

③板書の仕方について

児童が「次にしたい遊び」をイメージして決められるような、板書にするにはどうしたらよいか。